

むかしの道具を

使ってみたよ

1月から2月にかけて、小学3年生の社会科授業の一環として、民具体験が行われました。今年来館したのは、立山中央小学校・利田小学校・高野小学校・立山小学校の子どもたちです。



子どもたちは、ワークシートを使って現代の道具と同じ働きをする昔の道具について学んだほか、唐箕で小豆とゴミを選別したり、アミタポと呼ばれる道具でヨシズを編んだり実際に民具を使った体験をしました。最後は、ワラで縄を編む「縄ない」を習い、苦心しながらも上手に縄を作り上げていました。なかなか古い道具に触れる機会のない子どもたちにとって、貴重な経験になったのではないのでしょうか。



ワラでお正月飾りを作ろう

11月25日、町民カレッジ講座ワラ細工体験教室が開かれました。町民カレッジ講座としては初開催です。年末も近いということで、今回はワラでお正月飾りを作りました。叩いて柔らかくしたワラを撚って縄を作り、それを輪状に丸めて、古代米の稲穂や花飾りなどで飾りつけたら完成です。どの作品も良いお正月を迎えられそうな素敵なお正月飾りでした。



勾玉作りいろいろ

10月14日は、富山県日米協会のみなさんが勾玉作りに来館されました。アメリカやベトナム等、様々な国籍の方々が日本の文化に触れ、楽しい時間を過ごされました。また、1月5日は、芦峯寺公民館に出張し、勾玉作り体験を行いました。3世代が、それぞれ自分だけの勾玉を作りました。



富山テレビ『ぶらっ歩とやま』取材

11月15日、富山テレビで放映中の番組「ぶらっ歩とやま」の取材を受けました。そして、青木栄美子アナウンサーが、展示室で学芸員の解説を受けたり、遊具やすごろくで遊んだりする様子が放映されました。2日にわたってテレビで立山まいぶんの魅力を紹介していただいて、スタッフ一同とても喜んでいきます。今後も、より良い施設になるよう取り組んでまいります。

